

令和元年度 吹田市地域医療推進懇談会 作業部会の趣旨について

1 令和元年度の作業部会の趣旨

現在、本市では、住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、地域包括ケアシステムの構築を推進しています。

吹田市地域医療推進懇談会の議論においても、延命治療を望まない意思表示している方の救急搬送の問題も含め、人生の最終段階における医療・ケアにおいて十分に本人の意思が尊重されることの重要性についての意見が出されています。

そうした意見を踏まえて今年度の作業部会では、人生の最終段階における医療やケアに関する本人の意思決定や支援についての現状把握と課題の整理を行い、市民の意思を尊重したアドバンスド・ケア・プランニング(A C P)ⁱの推進方法について議論を行います。

2 作業部会での論点

- ・ 人生の最終段階における医療・ケアに関する意思表示や支援の現状と課題
市民側の意思表示の現状と課題
医療関係者側の支援の現状と課題
- ・ 本人の意思を尊重した支援につなげるための対策について
市民・医療関係者・行政等、それぞれがどうあるべきか
市民への情報提供や啓発のあり方
医療関係者側の理解促進と具体的支援のあり方 等

3 回数 3回開催

- 1回目 現状と課題の洗い出し
- 2回目 市民への情報提供や啓発のあり方
- 3回目 医療関係者側の理解促進と具体的支援のあり方等

4 構成員 8名

- | | |
|----------|------------|
| 診療所医師:2名 | 病院医師 :1名 |
| 訪問看護師:2名 | 病院看護師:1名 |
| 学識経験者:1名 | ケアマネジャー:1名 |

5 その他

地域医療推進懇談会及び作業部会、また、高齢福祉室所管の在宅医療・介護連携推進協議会(作業部会)の意見を聞きながら、市民啓発媒体の検討も進めていく予定。

ⁱ アドバンスド・ケア・プランニング (A C P)

人生の最終段階における医療・ケアについて、本人が家族等や医療・ケアチームと繰り返し話し合う取組